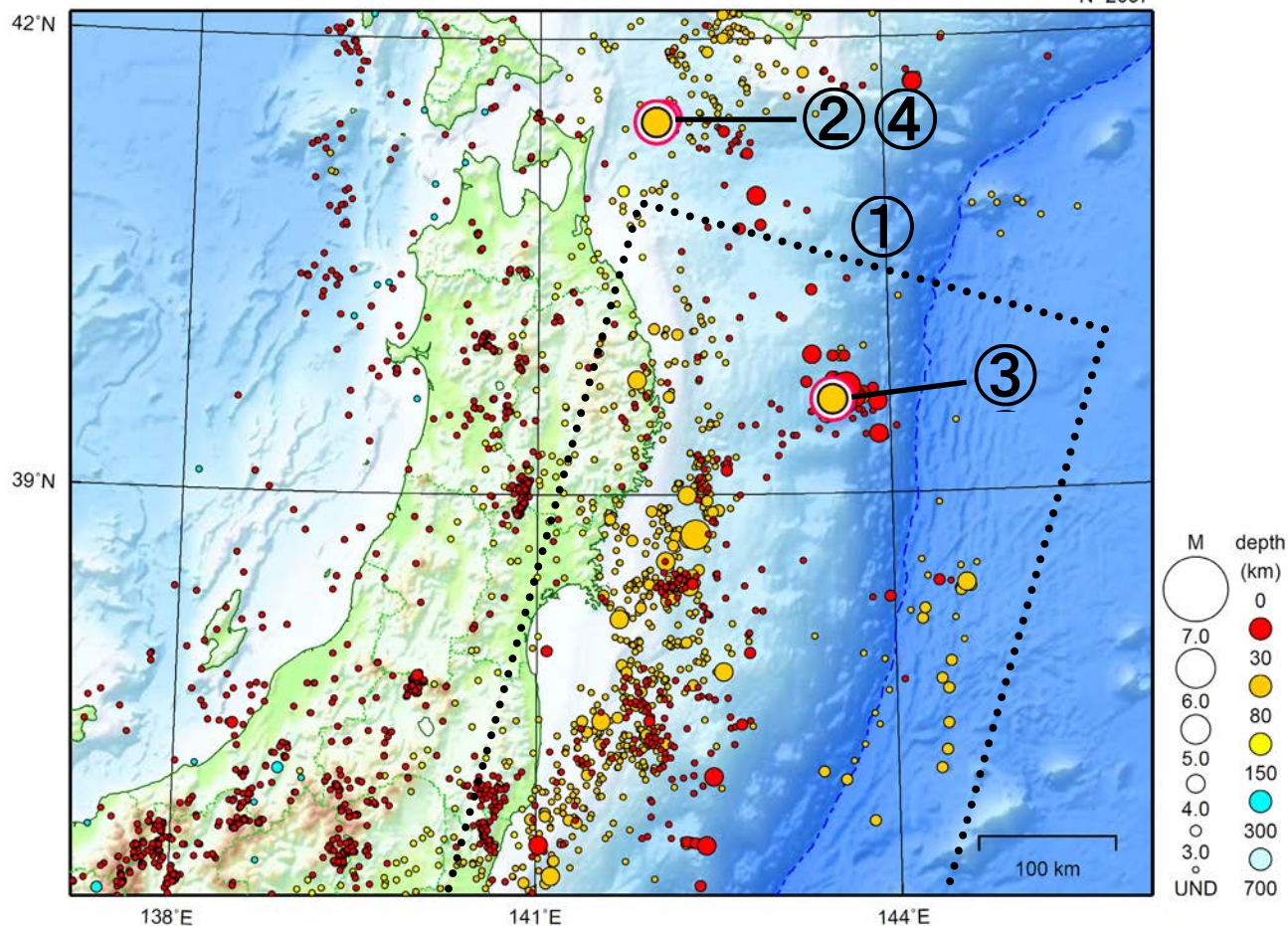


東北地方

2015/06/01 00:00 ~ 2015/06/30 24:00

N=2637



※ 点線は「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域を表す

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 6 月中に、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震域内では M5.0 以上の地震が 5 回発生した（関東・中部地方も参照）。また、最大震度 4 以上を観測する地震はなかった。以下の③の地震活動は、東北地方太平洋沖地震の余震域内で発生した。
- ② 6 月 8 日に青森県東方沖で M5.6 の地震（最大震度 4）が発生した。
- ③ 6 月 11 日に三陸沖で M5.9 の地震（最大震度 3）が発生した。
- ④ 6 月 23 日に青森県東方沖で M4.6 の地震（最大震度 4）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の余震活動

2015 年 6 月は、領域 a（「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の震源域及び海溝軸の東側を含む震源域の外側）で M5.0 以上の地震は 5 回発生した。また、最大震度 4 以上を観測する地震は発生しなかった。

2011 年 3 月 11 日に発生した「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震活動は次第に少なくなっているものの、余震域の沿岸に近い領域を中心に、本震発生以前に比べ活発な地震活動が継続している。

領域 a で 2015 年 6 月に発生した M5.0 以上の地震は以下のとおり。

2015 年 6 月に領域 a 内で発生した M5.0 以上の地震

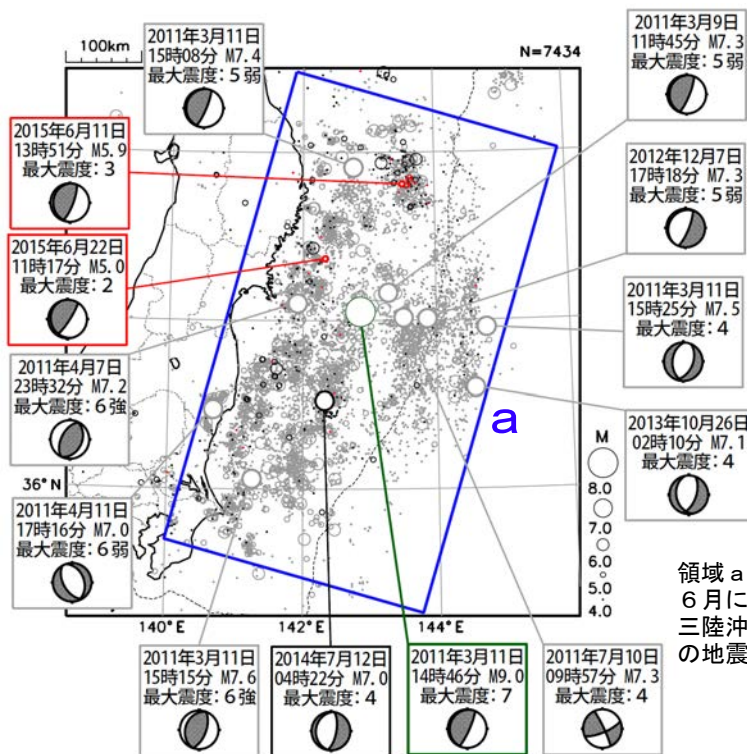
発生日時	震央地名	M	Mw	最大震度	発震機構（CMT 解）
06 月 10 日 17 時 32 分	三陸沖	5.8	5.6	2	西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型
06 月 11 日 13 時 45 分	三陸沖	5.9	5.6	2	東西方向に圧力軸を持つ逆断層型
06 月 11 日 13 時 51 分	三陸沖	5.9	5.6	3	西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型
06 月 11 日 13 時 56 分	三陸沖	5.6	—	2	—
06 月 22 日 11 時 17 分	宮城県沖	5.0	4.9	2	西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型

震央分布図

（2011 年 3 月 1 日～2015 年 6 月 30 日、深さすべて、 $M \geq 4.0$ ）

2011 年 3 月からの地震を薄く、2014 年 6 月から 2015 年 5 月の地震を濃く、

2015 年 6 月の地震を赤く表示。発震機構は CMT 解。



領域 a 内の M7.0 以上の地震と 2015 年 6 月に発生した M5.0 以上の地震（ただし、三陸沖の地震活動については、最大震度 3 の地震のみ）に吹き出しをつけた。



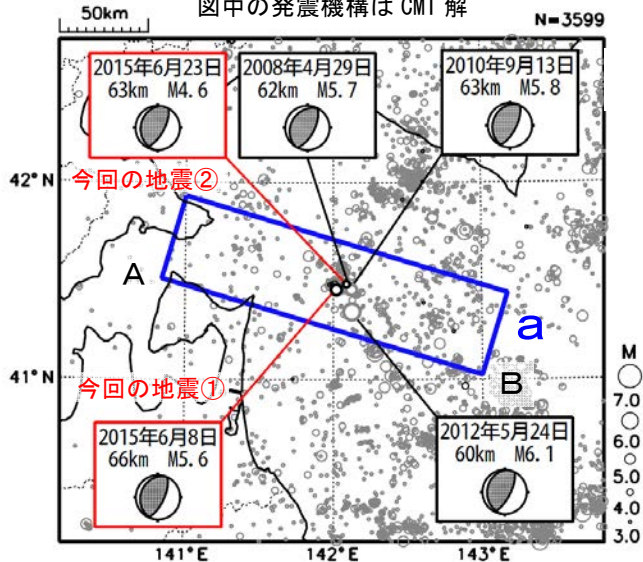
6月8日、23日 青森県東方沖の地震

震央分布図

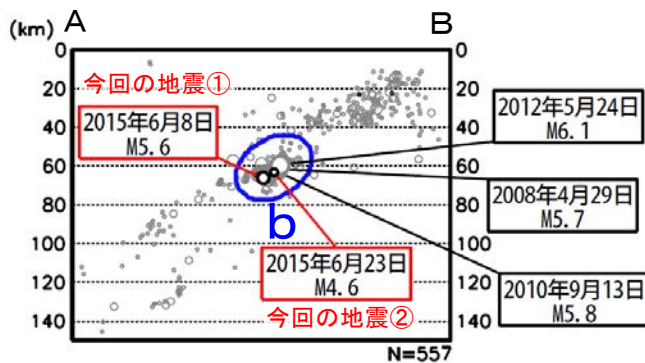
(1997年10月1日～2015年6月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)

2015年6月の地震を濃く表示

図中の発震機構はCMT解

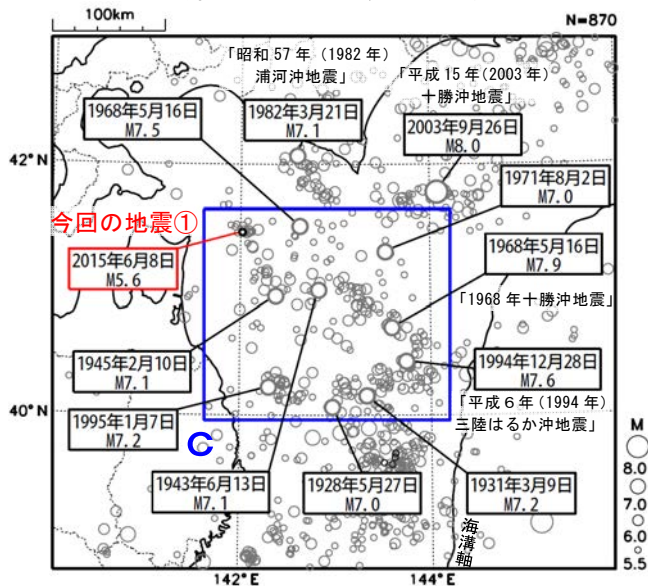


領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日～2015年6月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 5.5$)

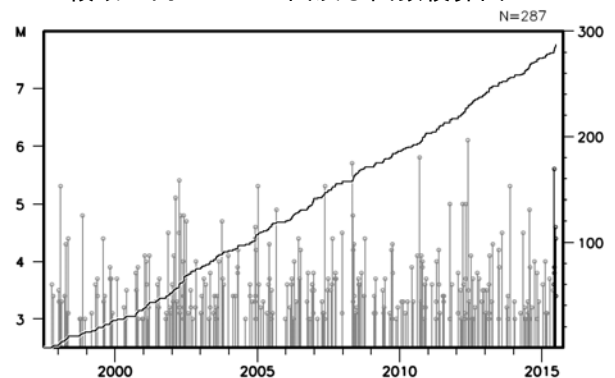


2015年6月8日15時01分に青森県東方沖の深さ66kmで $M 5.6$ の地震（最大震度4、①）が発生した。また、23日00時35分にほぼ同じ場所で $M 4.6$ の地震（最大震度4、②）が発生した。これらの地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

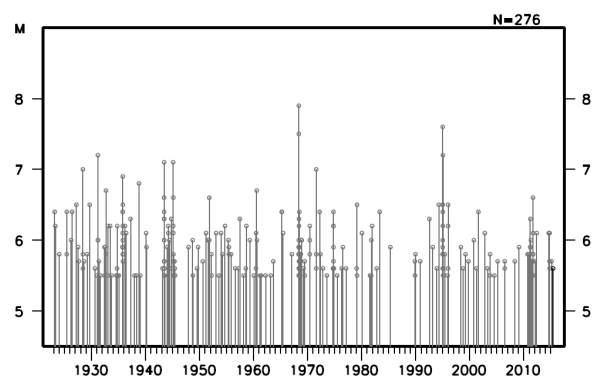
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M 5.0$ 以上の地震が時々発生している。最近では、2012年5月24日に $M 6.1$ の地震（最大震度5強）が発生し、青森県で文教施設の一部破損（ガラス破損等）10箇所などの被害が生じた（総務省消防庁による）。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）で、「1968年十勝沖地震」や「平成6年（1994年）三陸はるか沖地震」など、 $M 7.0$ 以上の地震が時々発生している。

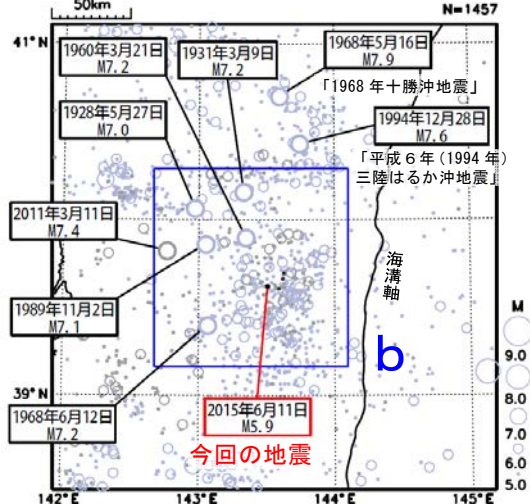
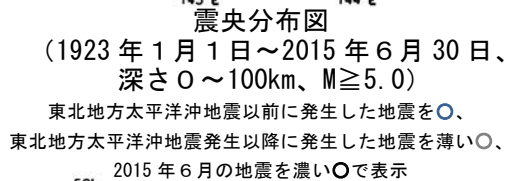
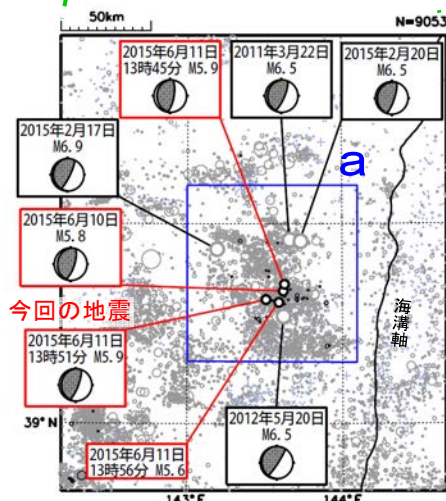
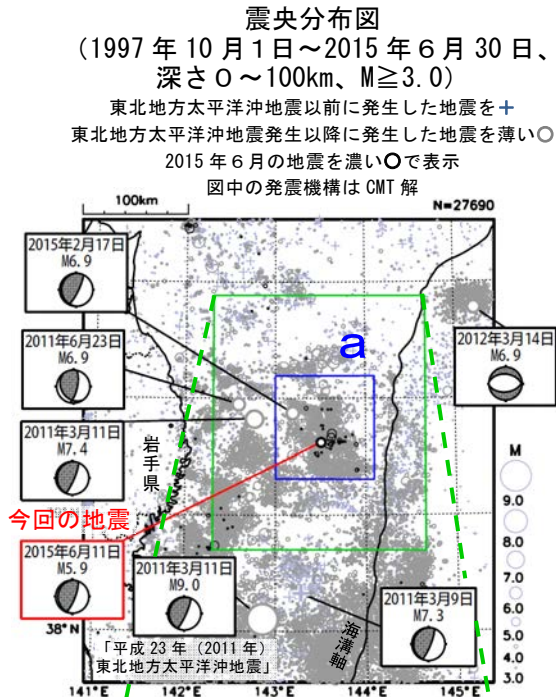
領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



6月11日 三陸沖の地震

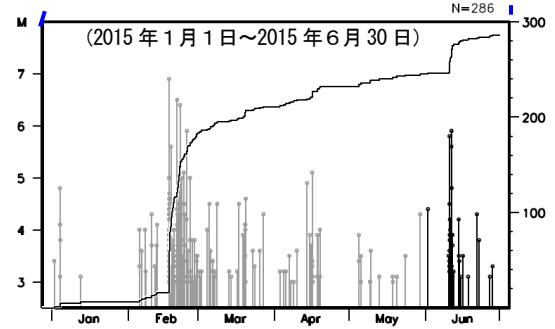
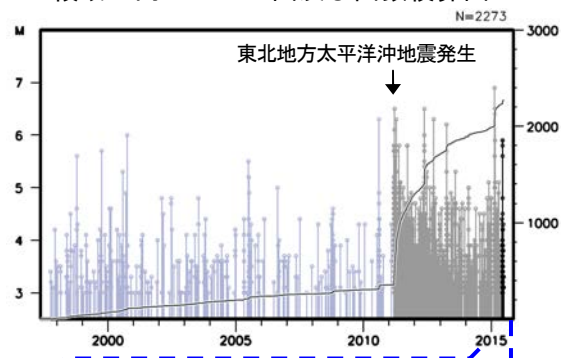


2015年6月11日13時51分に三陸沖でM5.9の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。今回の地震の震央付近では、10日17時32分にM5.8の地震（最大震度2）の発生以降、震度1以上を観測する地震が6月11日にかけて6回発生している。

1997年10月以降の活動を見ると、東北地方太平洋沖地震の発生前から、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M5.0以上の地震が時々発生していた。東北地方太平洋沖地震の発生以降は、地震活動が活発化し、2015年2月17日にM6.9の地震が発生するなど、M6.0以上の地震が10回発生している。

1923年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、しばしばM7クラスの地震を最大とするまとまった地震が発生している。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図

